

あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

山梨県韮崎市穴山町 5164

TEL0551-25-5900

FAX 0551-25-5906

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信



穴山町石水～稲倉穂見神社～

蘆崎市が生んだ女性企業家 学校法人伊藤学園を創設した伊藤うた



学校法人 伊藤学園

甲斐清和高等学校校長

伊藤 祐寛

伊藤うたがその生涯をかけて設立した本学園は今年で創立112年目になる。学園創立110周年を迎えた平成22年には、それまでの女子教育中心であった高等学校の学科を改編するとともに全学を完全男女共学とし、校名も64年ぶりに「甲斐清和高等学校」と改めた。平成24年現在、伊藤学園は、「甲斐清和高等学校」、「甲府医療秘書学院」、「山梨情報専門学校」、そして「優和福祉専門学校」の4校で構成され、生徒・学生総数約900名が、それぞれの夢の実現に向かって日々努力を続けている。

学祖うたは、明治元年12月、山梨県北巨摩郡穴山村（現山梨県蘆崎市穴山町）に生を受けた。教育熱心な父で穂見神社の神官であった守屋真清により、当時には珍しく良い教育の機会が与えられ、穴山小学校から山梨女子師範学校の前身である微典館女教場（通称山梨女学校）で学んだ。この教育機会は、以後、うたの教育者としての生涯において重要な基礎となった。

女学校卒業後、同じ穴山村の伊藤又六と結婚したうたは、早い時期に一家の大黒柱である夫を亡くし、当時は封建色の強い山村で、4人の子どもの養育と家業の切り盛り全てを女手一つで行わなければならなかった。

やがて、うたは「家屋敷を持つ者は良いが、世間にはこういう不幸の事実が沢山ある。こうした時、もし家に財産が無ければ、残された女は悲惨なものだ。この悲惨な境遇を救うものは、ただ自身の力に頼るしかないが、今の世の中の女にはこの力が欠けている。せめて娘時代に裁縫の技能だけでも十分養っておけば、独力で生きていく事ぐらいの働きはできる。それゆえ、完全なる学校をたて娘にこの技能を与え、女の独立心を向上させ、不幸な生活より救済する力を養ってやるのが自分の仕事である」との考えを持つに至った。夫の死から2年、うたに運命的な転機が訪れていた。うたは、その後生涯をかけて山梨県における女子教育の発展に尽力することになった。

開学するにあたって、うたは技量を習得するために単独で東京に赴き、東京裁縫女学校で教授法などの基礎を学んだ。開学までには紆余曲折があったが、農作業で培った「根気の良さ」と我慢強さでその困難を克服した。

うたは、明治33年12月1日、道徳観念の体得を基本とし、個々の独立精神を育む「山梨裁縫学校」を甲府

市代官町に設立した。最初の生徒募集にあたって、「和洋裁を専門に教授し、技芸を授け、温順貞淑の美德を養成する」と建学の目的を掲げている。

「豊かな生活能力をもつ道義高き人間を育成する」という建学の精神は、伊藤学園で学ぶ生徒・学生一人ひとりの個性を尊重し、それぞれの可能性を最大限に伸ばす教育の推進に脈々と生きている。

校長としてのうたは、慈母のような優しさと厳父のごとき厳格さを学校経営の基本としていた。当時の教え子の言によると、「うた校長先生のお姿は、丸々と太ったお体、丸いお顔、無造作に束ねられたお髪、目じりの下がった優しそうなお目、地味な黒っぽい着物と羽織の着流し。それは校長先生というより、そこらにいっぱいいる優しいお母さんという印象であった」という。またうたは、「これから先皆さんの人生は長い。いつどんな時に、どんな困ったことが起きるかもしれない。そのような時はいつでも学校に来なさい。相談に乗ってあげる」と生徒に言い聞かせていたという。一方、教師に対しては、授業を怠けている教師があれば、生徒の前でもどこでもすぐ叱る。一刻の猶予もなく遠慮もない。生徒の裁縫に誤ったところがあると、すぐ教師を読んで「あなたはこのように教えたのか、これは間違っているじゃないか。ここはこのようにするのだ」という調子で叱ったり、教えたりするという態度で、教師に対する姿勢は「常に生徒のため」を第一にしていた。

山梨裁縫学校の設立後、大正7年山梨実科女学校を設立、大正14年には甲府湯田高等女学校を設立した。昭和2年には甲府女子商業学校を設立、それらを合わせて財団法人伊藤学園の設立となった。昭和23年の新制高等学校制度発足に合わせ、甲府湯田高等学校に改編、平成23年4月に現在の甲斐清和高等学校へと続いている。

伊藤うたは、当時の封建的な社会にあって女性の独立を願って女子教育の推進に尽力したが、これは、男女問わずに独立心を育み、たとえ壁にぶつかっても地道に努力を重ねて解決することが重要であるという実社会における生き方を、人としての倫理観・道徳精神とあわせて生徒に教えたのであろう。

伊藤うたは昭和9年4月67歳で他界したが、その精神は77年後の今も脈々と受け継がれている。

本部だより

社会福祉法人 信和会 法人本部
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL0551-25-6100
E-mail: honbu@sip-shinwakai.jp



理事会・評議委員会報告

- 開催日：平成23年12月10日(土)
開催場所：穴山の杜 集会室
- | | | |
|------|-------|-------------------------------------|
| 審議次項 | 第1号議案 | 自家発電装置整備工事の契約について |
| | 第2号議案 | 新宿区知的障害者等入所施設整備
運営事業者公募の応募経過について |
| | 第3号議案 | 農地の管理及び運用について |
| | 第4号議案 | その他 |



平成23年度 第4回目の理事・評議員会で上記の議案が審議され、すべての項目について承認を得られたことをご報告いたします。

特記すべき事項としては、第1号議案の自家発電装置整備工事の契約について、12月1日に自家発電装置整備工事の入札、開札を実施し、3社入札の結果、株式会社 エヌディエスが9,450,000円(税込)で落札し、契約いたしました。設置は屋外低騒音(機側1mにて85dB)130KVAで障害者支援施設穴山の里東側に設置し停電等の緊急時に活用いたします。

また社会福祉法人 信和会ホームページをリニューアルいたしました。桜と新緑をイメージして作成いたしました。施設紹介、情報公開、職員の声、機関誌「あなやま」のバックナンバーの閲覧、また定期的に穴山の杜ギャラリーの写真を換え、皆様に見て頂けるようにいたしました。ぜひ一度ご覧下さい。

The screenshot shows the website interface with the following sections:

- 施設のご紹介** (Facility Introduction):
 - 穴山の杜 特別養護老人ホーム (Aokiyama no Sato Special Nursing Home)
 - 穴山の里 障害者支援施設 (Aokiyama no Sato Disability Support Facility)
 - わ〜く穴山の里 多機能型事業所 (Waik Aokiyama no Sato Multifunctional Business Office)
 - グループホーム ケアホーム 障害者援助施設 (Group Home Care Home Disability Support Facility)
- お知らせ** (Notice):
 - 2011年12月28日 穴山の里 新年の準備
 - 2011年12月28日 穴山の里 冬季家庭訓練が始まりました
 - 2011年12月13日 穴山の里 桜の苗木作業も終盤となりました
 - 2011年12月13日 穴山の里 忘年会第2班
 - 2011年12月8日 穴山の里 忘年会第1班
- あなやま通信** (Anayama Communication): Information about events and newsletters in the Aokiyama area.
- 採用情報** (Recruitment Information): Information about employment opportunities at Shinwaikai.

穴山の里だより

障害者支援施設 穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164
TEL0551-25-5900
E-mail : sato@sip-shinwakai.jp



「笑い×ヨガ」体験

皆さんは笑いヨガ (Laughter Yoga) はご存知ですか？私は今回の研修で初めて知りました。ヨガと銘打ってあるので身体の固い私に果たして出来るのかと初めは戦々恐々でした。

笑いヨガとはインド人医師のカタリア先生とその奥様マデューリーさんによって創案されたユニークな健康法で、『ヨガの呼吸法』と『笑いの体操』を融合させた運動です。笑うことは健康に良く、またコミュニケーションの潤滑油としても人間関係を豊かなものにしてくれます。座った状態でも出来るので年齢、障がい問わず見ず知らずの初対面同士の者が大きな声を掛け合いながら笑い合うヨガでした。初めは参加者も恥ずかしくて照れていましたが、次第に熱気を帯び、最後には皆さんオーバーアクションでノリノリに笑い合っていました。その頃には皆さん、かなり汗が光っていました。

それでは皆さんも一緒に、背筋を伸ばし、両手をへその前で合わせ鼻から息を吸い、口から息を吐きます。腹式呼吸を数回して、呼吸を整えます。次に「ホウホウ」と大きな声で言いながらへその前で2回両手を叩き、両手をYの字に伸ばし「ハハハ」と言ってみます。恥ずかしがらずに、大きな声を出して繰り返します。どうですか？

《笑う事》と《歩く事》を同じ時間した場合、笑う事には三倍の有酸素効果があるそうです。なにより心がすっきりします。講師の方は笑いのヨガを始めてから腹を立てたり怒ったりする事が殆どなくなったそうです。

笑いヨガを終え、笑うと、顔、腹筋と筋肉を無理なく使っていました。ちょっぴり痩せたい方、日常のストレス解消法として是非「ホウホウハハハ！」と心の底から笑い合いましょ。



渡井紀之



赤い羽根共同募金への協力



10月1日に赤い羽根共同募金街頭活動を実施し、JR穴山駅改札口にて募金を募りました。

当日は休日でしたが、多くのJR利用者の方にご協力をいただきました。また、保護者の皆様や法人内でも募金の呼びかけをし¥84,935の募金を集める事が出来ました。集まりました善意は12月9日に東京都共同募金会へ送らせて頂きました。ありがとうございました。



韮崎市福祉祭りに参加

10月16日韮崎市福祉の日記念祭りに参加しました。当日は心配された天候も午後にはうそのように晴れ、暑い一日となりました。日頃より練習を重ねてきた、「里の響」「きよしのルンバ」「きよしのドドンパ」の3曲を披露しました。

青空の下、奏でられた「里の響」は最高の演奏でした。



韮崎北東小学校にて...

10月18日、韮崎市立韮崎北東小学校6年生の道徳授業講師として、支援部リーダーの宮沢が出講しました。授業では、生徒と保護者の方へ自分たちの生活と福祉をもっと身近に感じてもらえるように分かりやすくイラストやスライドを使って地域と福祉について説明しました。障がいを持っている人、持っていない人、誰もがみんなかけがえのない「Only ワン」である事をお伝えしました。



へい！ むらっひゃい



利用者、職員みんなで、一年の労をねぎらい、11月1日に寿司パーティーをしました。寿司職人さんが作る“回らない！お寿司”は最高に美味しかったです。利用者さん達も、朝から「今日はお寿司の日だね♪」と昼食を楽しみにしていました。待ちに待った昼食の時間、出て来たお寿司を見て「やったあ！美味しそう」と声を上げていました。「いただきます」の挨拶をする



と、黙々とお寿司を食べ、あっという間に利用者さんのお皿は空になってしまいましたが、しっかりおかわりをしてお寿司を堪能しました。

よし！2012年も作業頑張るぞ！



蕪崎東中学校の一年生より



11月17日に蕪崎東中学校の一年生が来園し、福祉交流会をしました。施設説明を受けた後、各グループに別れ半日、作業体験をしていただきました。生徒さんより、体験で感じた事、学んだ事などを書いたお礼のお手紙を頂きましたので、一部抜粋で紹介させていただきます。

◎実際に施設を訪問し、私は「福祉」という言葉の本当の意味を考えることが出来ました。この福祉施設訪問で学んだ「思いやりの心」や「個性豊かな人達を受入れる心の大切さ」はこの先ずっと大切にしていきたいと思います。

◎「ありがとう」の交換で生活しているというすばらしさに私は驚きました。私たちの学校生活に取り入れたいです。

◎実際にふれあって、神社の清掃やゲームをしているうちに、皆同じ人間なんだ。という大切なことに気付きました。楽しむこと、大切なことを教えてくださいましてありがとうございました。

まだまだ紹介しきれませんが、短い時間内で小さな発見、大きな気付き様々な角度から福祉というものを実体験していただき、新鮮な声を聞くことが出来ました。私たち職員もより良い支援の提供を目指したいと思います。ありがとうございました。

わ〜く穴山の里だより

多機能型事業所 わ〜く穴山の里
〒407-0263 蕪崎市穴山町 4433-1
Tel : 0551-25-5866
E-mail : work@sip-shinwakai.jp



“一年の計は元旦にあり” 新しい年にどのようなことに重点を置いて仕事を進めて良いのか考えることは、とても大切なことに思います。評価から計画、実行への流れをつくることで、サービスの質の向上に努めてまいります。

新たな1年を展望する上で職員の一人ひとりが基本理念や支援の目的、共有化された価値観を意識し、日々の業務に取り組んでいきたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新成人

わ〜く穴山の里では、2名の利用者さんが新成人となりました。



I. RさんK. Sさん
おめでとうございます！
これからは大人の仲間入りですね☆

定年退職を機に八ヶ岳山麓に移り住み、一昨年の8月より、わ〜く穴山の里の生活支援員として勤務しております。まったくの異業種で、当初は戸惑いもありましたが、利用者の方々と接するうちに、改めて福祉の必要性を痛感させられました。

今後も経験豊富なスタッフの皆様のアドバイスをいただき、利用者の方々と喜怒哀楽を共にしながら、職責を果たしたいと思います。

生活支援員 中川 兼也



穴山の杜だより

特別養護老人ホーム穴山の杜
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL0551-25-6100
E-mail : mori@sip-shinwakai.jp



青々とした松に竹、梅、南天の紅白の実 それを包む編み込んだ稲藁。日本人の美的感覚の素晴らしさが伝わる真新しい門松が清々しい新年の雰囲気を感じさせてくれます。

多難であった年が明け静かで穏やかな新年を迎えました。職員一同、今年一年平穩無事であることを願い神棚に参拝し業務につきました。ご家族の皆様、並びに関係する皆様のご健勝をお祈りするとともに変わらぬご指導ご支援をお願い申し上げます。



(穴山町重久山田恭男様より寄贈)

トピックス冬編

クリスマス&年末年始



12月14日 ☆保育園児慰問☆

穴山保育園より園児皆さんが遊びに来てくれました。

かわいらしい衣装で、お遊戯や歌を披露していただいて、利用者の皆さんは、孫やひ孫を思い出して優しい笑顔でご覧になっていました。

12月に入り、各ユニットや1階ロビーにクリスマスツリーの飾りつけがされ、楽しいイベントが行われました。

12月21日 ☆クリスマスランチ☆

2階・3階それぞれ中央フロアに集まり、普段とは違う雰囲気の中、にぎり寿司・お味噌汁・カラフルサラダを召し上がりました。にぎり寿司はおかわり自由としたため、「おかわり!」「まぐろが食べたい!」など多くの声が聞かれ、楽しい雰囲気の中で食事が出来ました。おやつケーキは苺チョコ・マロン・抹茶あずきの3種類より食べたい物を選んで頂きました。「美味しい!」と笑顔が見られ、元気を頂いた良い一日となりました。



12月25日 ☆クリスマス☆

今年も利用者にプレゼントを届けるため、職員扮するサンタさんが来ました。利用者一人一人に「来年も楽しい年にしましょうね!」と声をかけながらプレゼントを配りました。さて、中身は何かな??

また、この日、クリスマスをお祝いするケーキを利用者と一緒に楽しく手作りしました。フルーツ盛りだくさんのスペシャルケーキが出来上がり、「甘くておいしいね!」と笑顔で召し上がっていました。



12月28日 お正月準備(餅付き)

正月を迎える準備として、恒例の餅付きが行われました。はっぴ姿に鉢巻きで気合十分の職員による餅付きが始まると、利用者も盛り上がり、「よいしょ、よいしょ」の威勢のよい掛け声がかかりました。つきたての餅は正面玄関や各ユニットのお供えの鏡餅に、そして、あんこ餅やきなこ餅にして皆で食べました。つきたてお餅はやわらかくてとてもおいしく、利用者にも好評でした。

また、玄関には立派な門松を飾り付け、新年を迎える準備が整いました。




～取り組み紹介～



平成23年度 各委員会活動の紹介

今年度の穴山の杜事業計画に盛り込んだ全職員参加の7つの委員会活動について、その活動目的及び、内容について紹介します。今回は3つの委員会の紹介と活動内容です。

委員会名	目的	実施内容
研修、介護技術 検討委員会 委員長 小尾美香	自己啓発、相互啓発の推進 施設内での研修計画の立案と答申 介護技術向上、介護上の問題点把握と解決活動を推進し、利用者に快適な生活を提供する。	月1回 委員会開催 勉強会（介護福祉士に向けたもの、知識向上を含めたもの） 5月3回、6月1回、8月、10月各2回 11月1回 計9回実施済み 7月11日、25日 リハビリの研修 10月4日、28日高齢者の食事作りと、とろみを使用した飲み物の試食 施設内研修1月13日、2月3日、3月2日 3回を予定 事例発表 6月9日、10月21日2回実施 2月24日第3回を予定
機能訓練委員会 委員長 大野孝宏	利用者の残存機能を維持し自立した生活ができるよう適切な訓練、援助等の方策検討。	毎月1回 委員会開催 機能訓練についての理解を深め、利用者の身体状況を把握して、実態に即した個別および集団の機能訓練メニューを提案する。各ユニットでの取り組みを他のユニットにも紹介する
行事・レク 給食委員会 委員長 堤 直子	利用者に充実した生活をしていただくための行事や、食事、日常的なレク活動について、広範囲に検討実施する。 	4月 草餅づくり・・・職員が採取したよもぎでの餅つきは大好評でした 9月 運動会・・・毎年恒例の施設のパティオを利用したミニ運動会。玉入れやパン食い競争などで楽しめました 12月 クリスマスイベント・・・デコレーションケーキ作り、プレゼント準備など 餅つき・・・職員と利用者が一体となり掛け声も賑やかに正月の鏡餅作り 1月 鏡開き、七草粥、 ※毎月1回各ユニットで委員会企画のレクレーションの実施

救急法実技講習会開催

施設内研修として12月9日、14日の2回、日本赤十字支社より講師をお招きして救急救命法の実技講習会を実施しました。心肺蘇生のやり方について講師より説明を受け、実際にモデルを使用して体験することができました。AEDの使用時の注意事項、気道異物除去についても指導を受けました。初めて体験する職員がほとんどで、とても参考になりました。



穴山の里文化祭のお知らせ



◎日時：平成24年3月11日(日)

*作品展示は11:00から15:00
*生活発表は13:30から15:00
となります

◎場所：穴山の里
〒216-0514 藤崎市穴山町5164
0551-25-5900

◎内容
*作品展示
*発表・・・里、GH、CH利用者・保護者
職員、他
皆様お揃いで是非お出かけ下さい。

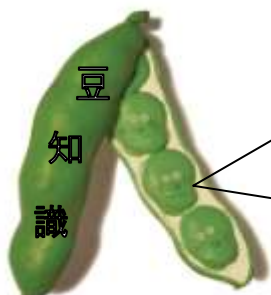
絵画のご紹介

虎岩良子様(穴山の里保護者)より絵画(50号3点)を頂きました。

虎岩様は美術に造詣が深い方で、作品は油彩画で抽象画を得意とされます。

頂いた絵画は、穴山の杜ギャラリーでご鑑賞いただけます。

皆様のお越しの際は穴山の杜まで足をお運びください。



獅子舞の毛の色には意味があるんですよ。
黒(回除)・白(来福)・茶(育成)
赤(無病息災)・黄(先客万来)
緑(健康・安全)・ピンク(家庭円満) 知っていましたか？

感謝録

(平成23年9月16日から平成23年12月31日)

～ご寄付を頂きました～(敬称略)

ありがとうございました。感謝いたします。

齋藤哲而・中込幸雄・石合義栄・貝瀬勝政・村田昇
長田一人・中村正信・岩下幸夫・津金良子・斉藤しづゑ
五味一男・五味和子・伊藤治男・小池一・山田恭男
虎岩良子・石橋電気保管理事務所・古名屋ホテル
山梨中央銀行須玉支店・(株)光洋・(株)セレオ・能見荘
丸山会計事務所・山梨県歯科衛生士専門学校・細田設備
山梨日化サービス・富士産業(株)・YSK e-com

～ご協力を頂きました～(敬称略)

☆ボランティア

角田 恵子(安来節)・千野 公洋(太鼓)・佐藤まゆみ
穴山保育園・初花会(保坂喜久代様他4名)
リベカ(深澤久子様他8名)・横森明日香(穂坂町)

訪問録

(平成23年9月16日から平成23年12月15日)

☆教育実習(敬称略)

山梨学院短期大学

石川奈央・清水梨加・中村佳代・高橋美幸

優和福祉専門学校

佐野弘平・石原恵美・小野藤木・梶原弘美・上野睦美

平山正芳・野田ひとみ・丹沢幸子・今井多津夫

藤兼孝行・秋山隆・野中恵美・小池望・齋藤京子

芹沢宣義・矢島留理子・瀬田英子

山梨大学3年

秋山菜穂

☆施設実習(敬称略)

わかば支援学校

岩間 大河・名取 慶介・堀内冬樹

☆施設見学(敬称略)

穴山町兵藤様とネパールからの教師3名・東京都社会福

祉協議会・山梨大学付属支援学校保護者・世田谷区上野

毛地区民生員・多摩市障害者福祉協会・長坂町民生員

編集後記

寒中お見舞い申し上げます。

本年もよろしくお願いいたします。

寒の入りを過ぎ、本格的に寒くなりました。春はまだ遠いですが、日が長くなったと感じる毎日です。

